

地方会議（富山県高岡市）

1. 日時、場所

平成24年4月9日（月） 13時30分～15時30分
富山県高岡文化ホール 多目的小ホール

2. 参加者

地元の若手・女性 of 中小企業経営者等 115名

3. 参加者の意見

（1）出された意見数（課題別）

全体意見数	23
資金調達	0
経営指導・経営支援	6
技術力・人材（技能承継等）	2
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	1
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	4
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	2
その他	6

（2）主な意見

【経営指導・経営支援】

- ・商工会主催の後継者セミナーを受講した事が、経営者としてのターニングポイントだった。気づきの機会を与えてくれたことに感謝。商工会等への一層の支援を。
- ・補助事業の事務処理の方針が毎年度変更になり、困っている。また、補助事業は単年度ごとに交付決定。年度を跨って継続してやるべき事ができないことが問題。
- ・地域資源の認定を取得する際、5年先を見据えて計画を立てたことがよかった。
- ・施策のガイドブックからは、「ビジネスにどう役立つか」がわかりにくい。
- ・経営者は日中に相談窓口に出向くことが困難。士業や商工団体が、施策と中小企業を結ぶハブ機能を担うべき。
- ・中小企業の現場は多様化している。最終目標だけを提示して、手法につい

ては自由度がある施策があるとおもしろいと思う。

【技術力・人材（技能承継等）】

- ・技術開発支援だけでなく、加工・受注まで含めた一体的な支援が必要。
- ・ハローワークは単に人を紹介するだけで、企業に合うかどうかの選別をしていない。仕組みを変えて欲しい。

【販路開拓（海外展開等）】

- ・国がリーダーシップを発揮し、地域同士をうまく繋いで連携を促進し、海外にアピールするという政策が不足している。

【若手・青年層の活力発揮】

- ・一度事業に失敗した人が再チャレンジ出来る仕組みや風土の整備が必要。
- ・若手が夢と希望を持って就職しても、生活の為に転職せざるを得ない人もいることが残念。

【女性層の活力発揮】

- ・女性を活用したくても、中小企業では、出産や育児で職場を離れる方の代替も準備できない。企業規模や地域の実情に応じた、きめ細かい施策を要望。
- ・女性社員を在宅勤務させようとしたが、ネット環境などインフラが整っていなかった。多様な働き方のためにはインフラ整備が必要。
- ・女性の経営者には、産前・産後・育児休暇は存在しないし、それをサポートする機運すらない。女性が、経営者と主婦を両方兼ねられるような環境整備が必要。

【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・地域の再生には、商店主同士の強固な連携が必要。

【その他】

- ・中小企業と小規模企業は一括りで語れない。小規模企業基本法の制定を。
- ・土業には様々あり、相談先が分からない経営者も多いことから、土業と中小企業を繋ぐ窓口があるとよい。
- ・事業承継税制は使い勝手が悪い。改善を望む。
- ・現在の助成金等の制度は、事務手続きの煩雑さや金額が大きすぎることから、小規模企業には向かない。